

## 令和3年度 第2回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 令和3年12月24日（金）10時00分～11時40分  
開催場所 ひこね燦ぱれす 多目的ホール  
出席者 別紙参照

### 1 開会

### 2 議事

(1) 「第1号議案 令和3年度補正予算（案）」について（資料1）

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。
  - 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
    - ・ コロナ禍の影響で当初想定していた予算と何か変化があったのか。
  - 事務局
    - ・ 今回、収支補正した国庫補助金は数年前から頂いているものでコロナ禍の影響はない。

(2) 「第2号議案 地域公共交通確保維持改善事業にかかる自己評価」について（資料2）

- ・ 第2号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。
  - 野村委員（（社）滋賀県バス協会専務理事）
    - ・ フィーダー系統の利用実績を教えて欲しい。
  - 事務局
    - ・ 令和2年度（R1.10～R2.9）もコロナ禍であったが、その際は2～3割減少している。
    - ・ 令和3年度（R2.10～R3.9）は令和2年度と比較して1割減少している。
  - 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
    - ・ 愛のりタクシーは利用が増えると行政負担が増えると理解しているが、その認識で良いか。
  - 事務局
    - ・ 予約便数が増えると行政負担は増加する。ただ、利用者が一定程度増加すると乗合率が向上して、行政負担も頭打ちになるのではないかと考えている。
  - 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
    - ・ 目標値である乗合率1.8人/便は、どのような考えで設定した数値なのか。
  - 事務局
    - ・ 網形成計画策定時の乗合率が1.4人/便であったため、1.8人/便ぐらいに落ち着くのではないかと判断して設定した。ただ、思ったより高い目標設定だと認識している。
    - ・ 愛のりタクシーは公共交通であり、複数人で乗ってもらうことを考えたら2.0人/便

も基準になると思うが、今後、議論していきたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 今後を見据えてもう少し分析を進め、乗合率の数値は再検討しておいた方が良いでしょう。

(3) 「第3号議案 愛のりタクシーの停留所増設等」について（資料3）

- ・ 第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 上野委員（甲良町老人クラブ連合会 会長）

- ・ 愛のりタクシーの運行は大変有難く、地元の要望を聞きつつ、毎年改善されていると理解している。一方で、愛のりタクシー停留所は自宅からできるだけ近い方が良く、また目的地に行くのに乗り換えが必要な場合もあり、もう少し目的地まで延伸できるような融通が利くと良い。
- ・ 運輸支局への申請が難しいかもしれないが、停留所は可能な限り目的地に近い方が良い。

● 事務局

- ・ 愛のりタクシーは定時定路線で路線バスと同じ制度が適用されているため、停留所の設定が必要となっている。今後もできるだけ利用者が便利になるように停留所を改善していきたい。また、その他にも利便性が向上していくよう検討していきたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 湖東圏域の地域住民の要望は、全ての自治会に聞いているのか。

● 事務局

- ・ 要望の収集は各市町に任せており、方法も異なる。
- ・ 愛荘町の場合は愛のりタクシーについて全自治会に声をかけて収集しているが、彦根市の場合、各自治会に市政への要望を毎年聞いているため、その中に愛のりが含まれていれば対応している。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 色々な要望が挙がってくると思われるが、条件等もある。不公平にならないように対応して欲しい。

(4) 「第4号議案 令和4年度パーク&バスライド社会実験」について（資料4）

- ・ 第4号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 野口委員（滋賀運輸支局主席運輸企画専門官）

- ・ 市役所前の移設は有難い。
- ・ 安全性確保のランク分けは国の基準で機械的に決まっており、バス停の構造上、危険な個所も含まれており、事故が多いという訳ではない。
- ・ 滋賀県は全国で2番目に「A」（安全上の優先度をA～Cの3段階で評価）が多く、

注目されているが、今回の移設は地域住民の意見を聞いている証拠と言える。今後も安全・安心に乗降できる場所に設置していただきたい。

● 事務局

- ・ 今回移設した「市役所前」は「B」評価であるが、引き続き改善していきたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ パーク&バスライドの社会実験を行っているが、今までのシャトルバスではなく、本格運行のために路線バスを使用するための検証を行うという主旨か。
- ・ ご城下巡回バスの変更内容は何か。

● 事務局

- ・ ご認識のとおりである。
- ・ 彦根城周辺を回れるためにご城下巡回バスも企画切符の対象とするが、桜シーズンは交通規制を行うため、ご城下巡回バスの経路を一部変更する。今回の議題にも記載してある。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 企画切符の金額は、パーク&バスライドの駐車場代も見込んでいるのか。

● 事務局

- ・ 11月に実施した社会実験では駐車場代は500円であり、駐車場は無料とし、バス運賃のみいただきたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ パーク&バスライドの駐車場利用者以外も購入は可能か。

● 事務局

- ・ ご城下巡回バスの乗り放題切符は通年400円で販売しており、今回の企画切符はパーク&バスライドの駐車場利用者以外も購入できるようにしたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ パーク&バスライドの経過報告は、当協議会でもして欲しい。

(5) 「報告事項 路線バス無料DAYのアンケート結果」について（資料5）

- ・ 報告事項について、事務局より資料説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 前回の協議会で提案のあった企画であるが、目的に対する検証はどうだったのか。

● 事務局

- ・ もともとは高齢者向けの企画であったが、誰でも無料としたため、主旨は薄まってしまったが、普段、バス利用がない方も乗っているため、一定の成果はあった。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大のこともあり、企画の周知は積極的にはできなかった。
- ・ アンケート調査結果から、路線バスを利用するきっかけになることが分かったので、内容を改善しつつ、今後も継続していきたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 目的⇒結果⇒検証が必要である。誰でも利用できる点は良い。今回の成果を検証しつ

つ、継続して欲しい。

● 福島委員（滋賀県土木交通部交通戦略課 課長補佐）

- ・ アンケート調査で面白い結果が出ている。P. 10 では運行ダイヤ（時刻表）は便利の回答が多いのに対し、P. 17 の今まで路線バスを利用しなかった理由として本数が少なかったが多く、矛盾している。
- ・ これは実際に乗ってみたら実は便利だったことの裏付けか。

● 事務局

- ・ 今回は企画中に路線バスを利用された方を対象にアンケート調査を実施したが、利用日のニーズに合えばP. 10のような回答になったと解釈している。
- ・ 改めて評価していただけるように工夫していきたい。

(6) 「報告事項 愛のりタクシーとりいもと「市役所」停留所移設」について（資料6）

- ・ 報告事項について、事務局より資料説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

(7) 「報告事項 愛のりタクシー体験乗車」について（資料7）

- ・ 報告事項について、事務局より資料説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。

● 郷野委員（彦根市老人クラブ連合会 会長）

- ・ 1 日目にパンフレット等の説明があり、最初の説明では分かりづらかったが、実際に体験するとその良さが分かった。
- ・ 気づいた点は停留所までの移動手段をもう少し考えて欲しいと感じた。自宅から愛のり停留所までのラストワンマイルが大事である。
- ・ 今後も団体が集まる所で体験会をして欲しい。

● 野本委員（聖泉大学名誉教授）

- ・ 以前に免許証返納者を対象としたアンケート調査があったが、近年は高齢者による悲劇的な交通事故が多く、家族の意向も含めて免許証を返納する動きになっている。そのため、元気なうちから移動手段を考えてもらう必要がある。
- ・ 引き続き、今回のような企画を実施して欲しい。

● 事務局

- ・ 愛のりタクシーは皆様に使って欲しいが乗っていない方のイメージが悪い。
- ・ 今回、体験乗車を実施した結果、乗ってもらうことでイメージを変えていく方法が有効と考えている。
- ・ ご指摘のとおり、免許証返納の関心が高まっており、出前講座でも年を重ねると停留所まで歩くことが辛くなるが、元気なうちに使ってもらうようお願いしている。今後も継続していきたい。

● 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）

- ・ 体験乗車は自治会を対象として実施していくのか、今後の展望を教えてください。

- 事務局
  - ・ 出前講座では愛のりを利用してくださいと伝えるだけに留めている。
  - ・ 今回の体験乗車は参加者に対し回数券を配布し、無料で利用してもらった（協議会が運賃を負担）。今回のように参加者が少ないと良いが、自治会単位で行えば参加者が20～30人と増加するため、1市4町で実施方法を検討していきたい。
- 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
  - ・ 免許証返納者への支援で回数券を配布しているが、路線バスと愛のりタクシーの両方を配布しているのか。
  - ・ 愛のりタクシーの費用負担は、事後清算なのか。
- 事務局
  - ・ 回数券は免許証返納者が路線バスか、愛のりタクシーのどちらかを選択できるが、9,000円分を1度のみ配布している。
  - ・ 体験乗車の費用負担をどうするかは今後検討していきたい。
- 上野委員（甲良町老人クラブ連合会 会長）
  - ・ 愛のりの予約は1時間前であるが、病院の場合、帰りの時間が読めない。もう少し短縮できないのか。
- 事務局
  - ・ 現在も総合病院のみ30分前の予約が可能である。
  - ・ 愛のりタクシーは予約してからの配車であり、30分で車両を確保できない場合がある。確実に運行するため、現在の1時間前予約としているが、引き続き検討はしていきたい。

(8) その他

- ・ 全体を通して、以下の通り報告と質疑応答が行われた。
  - 事務局
    - ・ 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会（法定協議会）にて、近江鉄道沿線地域公共交通計画が策定される予定である。
    - ・ 近江鉄道の計画を受けて、当協議会が策定した湖東圏域地域公共交通網形成計画を見直すべきかを事務局で検討したい。
  - 轟会長代理（滋賀県立大学准教授）
    - ・ 近江鉄道駅の一定のハブ化を行なうとともに、まちづくりの視点も必要となる。関係他課とも連携しながら、事務局で検討して欲しい。
- ・ 令和4年3月末に第3回総会を対面で予定しており、日時は後日調整する旨の連絡があった。

3 閉会

以上